



2025 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 JUKI 株式会社
代表者名 代表取締役社長 成川 敦
(コード：6440 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 橋本 圭一
(TEL. 042-357-2211)

製造拠点体制の合理化実施に関するお知らせ

JUKI 株式会社（以下、「当社」といいます。）は、第 3 四半期におけるコスト構造改革の取り組みとして、国内外のグループ製造拠点体制の合理化を実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施の理由

当社を取り巻く事業環境は、米国関税政策、長期化する中国経済の低迷、原油高、不安定な為替など今後も不透明な情勢が長引き、厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況下において、当社といたしまして、全社一丸となって取り組んできたコスト構造改革の一環として「製造拠点体制の合理化」を実施してまいりました。本合理化を実行することにより、新中期計画で策定した事業方針に基づく人的リソースの最適配置および規模の適正化を行ってまいります。

2. 製造拠点体制の合理化の概要

(1) 対象グループ会社

JUKI 松江株式会社(日本)、重機(上海)工業有限公司(中国)、重機(廊坊)工業有限公司(中国)

(2) 実施事項及び合理化による効果

各製造拠点における生産規模に合わせた人員体制の見直しを行い、209 名の人員削減を実施し、この人員削減に伴う構造改革費用として約 3.1 億円を第 3 四半期に計上いたします。

(内訳：JUKI 松江 0.1 億円、重機(上海)工業 1.4 億円、重機(廊坊)工業 1.6 億円)

本合理化による効果は、2025 年度は約 1.5 億円、2026 年以降は約 6 億円/年の固定費削減効果を見込んでおります。

3. 業績に与える影響

本合理化による構造改革費用約 3.1 億円および 7 月 14 日にお知らせしております「ネクストキャリアプログラム」における加算金等の費用約 1.9 億円、その他の構造改革による費用約 0.6 億円、合計約 5.6 億円を特別損失として第 3 四半期に計上する予定です。なお、本構造改革費用については、連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想に変更はありません。

以 上